

地震

- 堤防の耐震補強対策
- 被災時の早期復旧、緊急物資輸送等の確保
- 排水機場・樋門等の耐震点検、耐震対策
- 淀川大堰閘門

地震

■ 堤防の耐震補強対策



■ 地震

■ 兵庫県南部地震の教訓

○淀川堤防が2kmにわたり陥没・崩壊

→大量土砂は船舶により搬入

○道路・鉄道・橋梁が崩壊、交通網が麻痺

→支援要員・物資輸送に水上輸送が有効

■ 船舶が交通麻痺時の輸送機能として有効

○舟運を防災時に活用可能なよう河川整備

○河川～幹線道路との連携

- 地震
- 緊急水上輸送



- ①水上輸送
送
・大阪湾、
京都府から淀川を利用し大阪内陸部へ水上輸送が可能
- ②緊急河川敷道路輸送
送
・高速・幹線道路との
接続により、淀川都市への物資輸送が可能

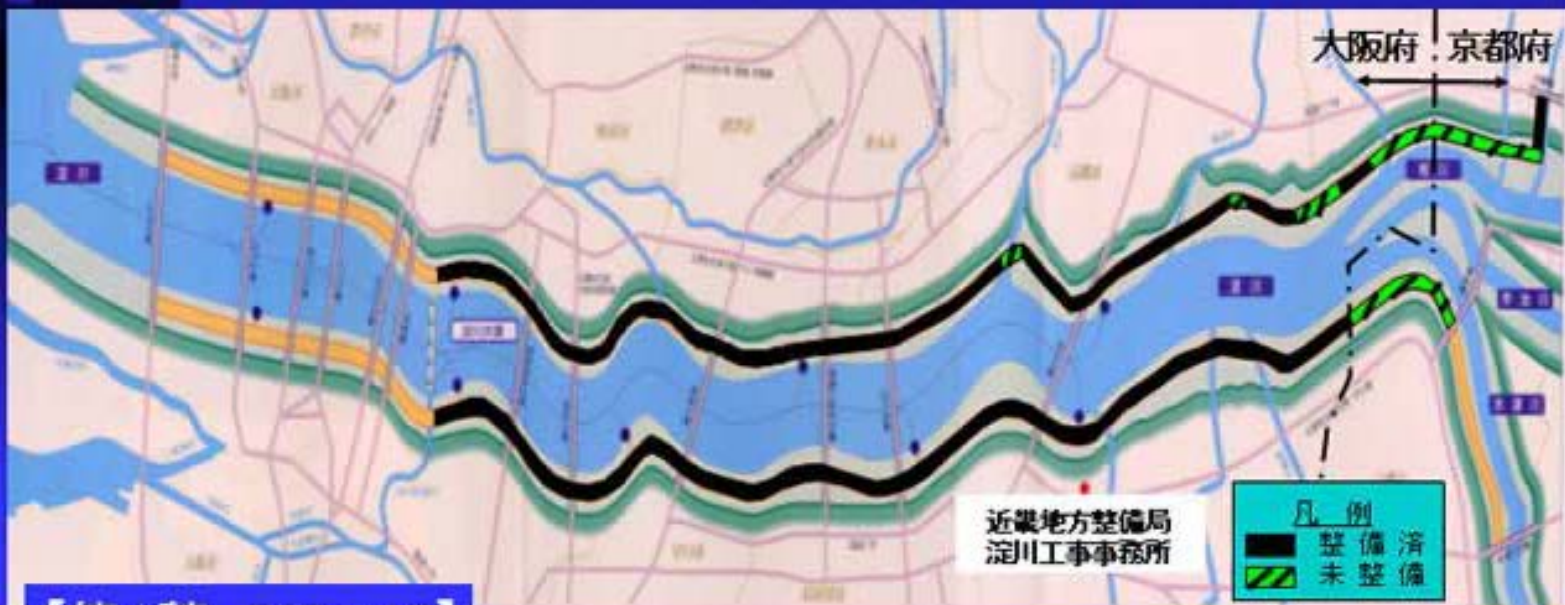
【第1稿 p17~18】
大阪湾・高速・幹線道の海陸両面輸送が可能

◎①+②の連携で、大

地震

■ 緊急用河川敷道路

○残る区間を実施し、効果を発揮



地震

■ 船着場

船着場位置図



船着場イメージ(自然の水辺を保全)



整備済(●) 7箇所

整備中(◎) 2箇所

【第1稿 P17~18】

(海老江船着場)

津波

南海地震津波による被害想定

- 地震発生から2時間で河口に到達
- 津波の高さは海面よりさらに2m高い
- 堤防は越えないが、高水敷が冠水
- その対応が必要



【第1稿 P17-18】

津波

- ・避難体制やソフト対策
防潮水門や陸閘等の操作体制の
強化等が必要

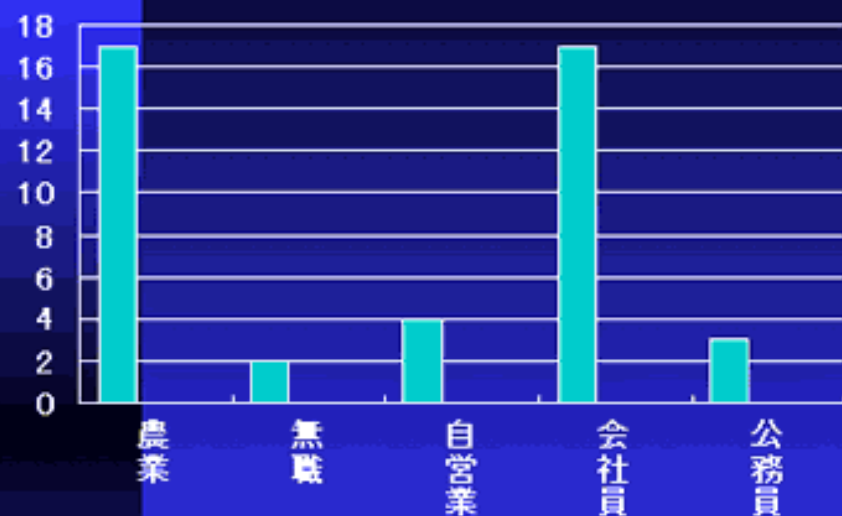
維持管理

- (1) 出水対策
- (2) 河川管理施設の機能保持
- (3) 許可工作物
- (4) 河川区域の管理

維持管理の現状の課題

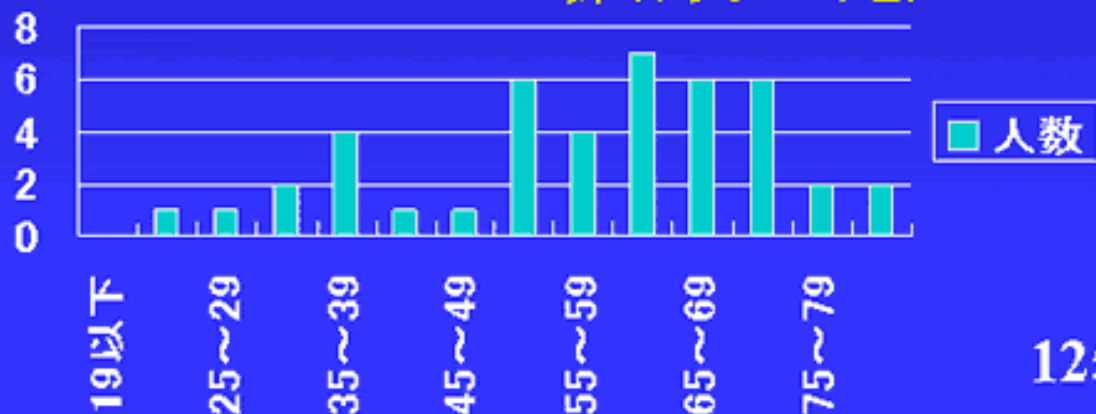
- 施設の増加と操作員の高齢化等
- 河川管理施設老朽化
- 樹木の繁茂と堆積土砂
- 不法投棄の増大

操作員の職業の多様性と高齢化



•操作員は、近隣に住んでおられるが、会社員等が増加

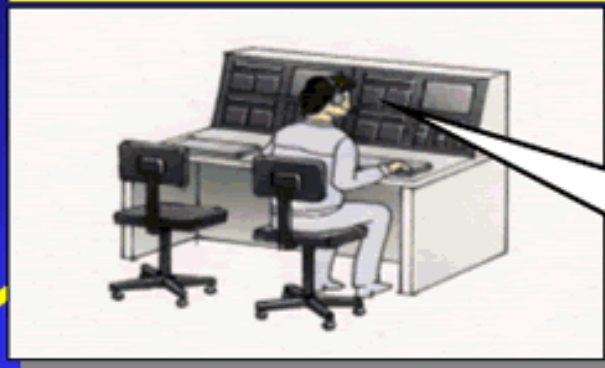
操作員の年齢



集中管理体制の検討

緊急時に遠隔操作や支援等を行う

集中管理センター



- 常時施設を監視
- 故障時操作支援
- 緊急時遠方操作



水門・樋門



排水機場



【第1稿 P19】

施設の老朽(護岸)



【第1稿 P19】